

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		E 指定管理者事業	
事務事業名	スポーツ施設等管理事業	事業番号		008-015	
担当部署名	文化観光	局	スポーツ	部	スポーツ施設課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1)健康で長生きできる都市の実現		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③健康を支える地域社会の形成				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	スポーツ・運動習慣者割合（1回30分以上の運動を週2回以上行う者）				
		寄与するKPI	有	現状値	23.7%(2017年度)	目標値	50.0%(2025年度)		
		有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4			
		有	取組	スポーツ・運動習慣定着による健康増進					
		有・無	指標名	健康寿命					
		有	現状値	男性：71.46年、女性：73.60年(2016年度)	目標値	男性：73.20年、女性：76.20年(2023年)			
2	関連計画		堺市スポーツ推進プラン						
3	事業開始年度		平成 18 年度		点検対象年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		スポーツ基本法 地方自治法						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		本庁						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		施設利用者				対象数	単位	
							2,672,902	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		ライフスタイルに応じて、年齢や性別、国籍・障害の有無にかかわらず、すべての人が生涯にわたりスポーツを身近なものとして親しむことができ、豊かで健やかな生活を過ごせる地域社会の実現をめざし、安全で快適なスポーツ環境を提供する。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など		<ul style="list-style-type: none"> ・市の体育館、スポーツ施設等の管理運営について、指定管理者制度等を導入し、民間のノウハウ等を活用し利用に供する。 ・施設利用のない区分を有効活用し、子どもからお年寄りまで幅広い方を対象にスポーツ教室を実施する。 ・インターネット・街頭端末機等による抽選・利用申込手続並びに利用料金収納を行う情報システム（オーパスシステム）の円滑な運用を図り、利用者のさらなる利便性の向上に努める。 						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載								
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）		各施設指定管理者						
10	公民連携・協働事業								

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	点検対象年度 令和7年度
施設利用者	人	目標値	1,928,000	2,025,000	2,430,000	3,400,000
		実績値	2,075,158	2,672,902		
		達成率	108%	132%		
11	当該指標を選定した理由		新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ利用者数が令和4年度以降に回復していく想定で、J-GREEN堺や大浜体育館・大浜武道館、くら寿司スタジアム堺などの大規模スポーツ施設を有効活用した全国大会の誘致や、トップレベルのホームゲーム開催により、本市のスポーツの魅力を創出し、スポーツへの関心や参加機運を醸成することで、市内スポーツ施設の利用者数の増加につなげることを目標としたため。			
	目標値の設定根拠・算出方法		平成27年度～令和元年度の5年間の施設利用者数15,855,528人であったことから、令和3年度から7年度の5年間累計で100万人増加を目標としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、令和6年度には新型コロナウイルス感染拡大前の水準に戻ると想定した目標を新たに掲げることとし、令和7年度の目標を年間平均利用者数（約3,150千人）から約200千人増とした。 (単年度の目標値はそれぞれ4年度2,025千人、5年度2,430千人、6年度3,159千人、7年度3,400千人)。 対象施設：大浜体育館・大浜武道館等（大浜公園野球場、大浜公園テニスコート、大浜公園相撲場、三宝公園野球場、浅香山公園野球場、土居川公園テニスコート）、金岡公園体育館等（金岡公園野球場、金岡公園テニスコート、金岡公園陸上競技場）、初芝体育館等（初芝野球場、初芝テニスコート、白鷺公園野球場、白鷺公園運動広場）、家原大池体育館等（みなと堺グリーンひろば）、鴨谷体育館等（鴨谷野球場、荒山テニスコート）、美原体育館等（美原多治井運動広場、美原みの池運動広場、美原さつき野運動広場、美原B&G海洋センター）、原池公園体育館（原池公園スケートボードパーク、陶器スポーツ広場）、原池公園野球場、美原総合スポーツセンター、J-GREEN堺			
12	活動指標(成果を上げるための手段)		実績		目標	
	人	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
オーパス登録者数		1,800	2,000	2,000		
実績値		1,583	1,627			
	達成率	88%	81%			
	当該指標を選定した理由		オーパスシステムに登録することで、施設利用予約の利便性が向上し、施設の継続利用につなげることができるため。			
	目標値の設定根拠・算出方法		登録者数と施設利用者数は概ね比例するため。			

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	スポーツ施設等管理事業	事業番号	008-015
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	928,841	996,393	879,777	885,547	887,484
13 財源内訳					
国支出金		217,741	0	20,739	0
府支出金			0	0	0
市債			0	0	0
その他 (基金繰入金、施設の光熱水費徴収金、指定管理者納付金及びスポーツ施設情報システム施設利用料収入等)	201,175	194,432	276,409	269,021	276,429
受益者負担金(使用料、手数料等)			0	0	0
一般財源	727,666	584,220	603,368	595,787	611,055
14 人件費 (b)	47,100	38,900	38,900	38,900	44,100
15 年間経費 (c)=(a)+(b)	975,941	1,035,293	918,677	924,447	931,584

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費		うち一般財源	項目	年度	事業費		うち一般財源
		事業費	うち一般財源				事業費	うち一般財源	
16 事業費内訳	R4 決算	764,439	503,221	503,221	体育施設関連備品一式購入費	R4	決算	11,209	6,409
						R5	予算	6,200	6,200
	R4 決算	38,693	38,693	38,693	会計年度職員報酬・期末手当	R4	決算	5,179	5,179
						R5	予算	4,954	4,954
	R4 決算	29,557	29,557	29,557	高齢者健康増進関連経費	R4	決算	188	188
						R5	予算	500	0
	R4 決算	7,920	7,920	7,920	キャッシュレス決済端末等導入費	R4	決算	4,792	559
						R5	予算	8,436	8,436
	R4 決算	3,698	3,698	3,698	その他 (旅費、需用費、役員費など)	R4	決算	19,872	363
						R5	予算	4,207	1,227

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 施設利用者数	人	2,075,158	2,672,902
② 上記①にかかる年間経費	千円	996,393	885,547
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	480	331
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	新型コロナウイルスによる影響が減少傾向となったため、利用者数が増加に転じ、一人当たりの経費が減少した。今後も、サービスの維持向上により利用者数を増加させ、費用対効果を高める。
----	---

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>感染対策を講じ、大浜体育館 (大浜だいしんアリーナ、だいしん大浜武道館)、原池公園野球場 (くら寿司スタジアム堺)、J-GREEN堺などの大規模施設を中心に、全国規模の大会やトップレベルチームの公式戦などのほか、園地やスポーツ施設を一体的に活用した大規模イベントの開催により、施設利用者数の増加につながった。</p> <p>また、65歳以上の高齢者を対象に体育館トレーニング室の初回講習料無料化や各種スポーツ教室等の実施により、市民の方の運動習慣の定着に寄与することができた。</p> <p>今後、アフターコロナで、社会経済活動が増加していく中、施設の情報発信の強化やライフステージに応じたスポーツ教室の提供など、利用者の利便性向上等に取り組み、市民の方の運動習慣定着による健康増進をめざす。</p>
----	---